

位置情報を付加した景観写真共有サイトとスマートフォンのための仮想空間提示システム による観光振興および賑わいの創出

学生団体名 坂倉研究室 (金沢工業高等専門学校)

参加学生 吉村宗一郎 出口善章 尾上真央

1. 地域活動概要

本プロジェクトは ICT 技術を用いることにより、富来地区の観光スポットや名産品を石川県民だけでなく、全国の人に紹介し、それらの情報を共有することで富来地区の観光振興や賑わいの創出を目的としている。具体的には 1) 景観写真共有サイト、2) 仮想空間提示システムを開発し、富来地区の魅力を広く発信する。

2. 地域活動の具体的な内容

メールや電話での打合せの他、現地で以下の活動を行った。右図は初回時の打ち合わせの様子である。

- 8/8 富来商工会との打ち合わせ
(プロジェクトの趣旨について意見交換)
- 10/13 富来のマスコットキャラクターのための打ち合わせ
- 12/1 取材(12件のお店を取材・撮影)



3. 今回の地域活動の評価

Android アプリ開発の提案や富来のマスコットキャラクターの提案を行い、その取り組みが実現するように地域の方々と活動することで地域を盛り上げるきっかけを与えることができたと考えている。

4. 今後、この地域活動を継続、活発化していくために必要なもの、及び課題

システムを継続的に運用することが必要であると考えられる。また、本システムの認知度を高めることも重要である。これにより、多くの人々に富来の素晴らしい場所やお店を知ってもらう機会を与えることができる。

5. 学生の感想

富来商工会の方々とのプロジェクトを通じて、住民の方々の温かさを感じた。アプリ開発のための取材に伺った際、桜貝をたくさん拾うことができる場所や、富来の伝説の話など有益で興味深い情報を教えていただいた。富来の方々とは打ち解け合えたことが心に残った。

6. 地域からの評価

富来商工会はここ 2, 3 年 ホームページやスマートフォンを利用して、地域の発信を模索してきました。そんな折、この事業に出会い金沢高専のみなさんの取組に出会うことが出来ました。その内容はスマホ上に地域の観光や飲食店等を映し出すこと、実店舗をスマホの写真で撮影するとキャラクターが写り込むソフトなどです。当商工会では、同時並行で行っていた事業に、伝説で地域を発信しようという取組にも利用させていただきました。この先も色々お手伝いを願っています。